

学習内容報告書 フォーマット

学校名	三重大学教育学部附属小学校
授業者	松藤 亮

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

社会と主体的に関わり、「問い」を追究し続ける授業 ～マイクロプラスチックごみのなぞを探れ！～

1-2. 学年

第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

特別の教科道徳・総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

三重県津市の海岸にウミガメが産卵に来ることから、津市の海岸の環境やウミガメの生態、そして、近年、問題となっている様々な問題について調べ、考えさせる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

三重県津市がアカウミガメの産卵地として有名なことから本単元として設定した。また、今年度、上陸回数が0回であったことから、海洋問題について切実感をもって取り組めると考えた。ここから、自分たちにとって身近な問題であることに気づき、自分にできることはないか考える素地になることをねらいとした。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

三重県津市の海岸の環境問題について理解し、自ら自然環境を大切にしていこうとする態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全4時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	特別の教科道徳で「タマゾン川」という題材で学習を行った。外来種の影響で多摩川の生態系が乱れているという実態から、日本の生態系や自然環境に関わる問題について理解し、自ら自然環境を大切にしていこうとする態度を育てることをねらいとした。そして、学習の終わりに指導者から「この学校がある三重県津市の自然環境では、	【教師の指導】 ・発問 ・板書 【使用教材】 ・東京書籍「新訂 新しい道徳6」 【主な評価】 ・三重県津市の海岸について興味・関心をもって

	<p>同じように生態系に問題が起きていないのか」と問いかけた。子どもたちからは「何も知らない」「津市の自然の特徴が思いつかない」と反応があったため、津市の海岸に焦点を当てて、もう一度考えさせた。すると、「ウミガメが海岸に来ると聞いたことがある」と発言する子どもがいた。そのことについて知らない子どもがほとんどであったため、次時から、津市の海岸を調査していくことを伝え、第1時を終了した。</p>	<p>る（発言）</p>
2	<p>「ウミガメとは何か」という課題で学習を行った。名前を知っている子どもは多かったが、「どのような生き物なのか」「何種類いるのか」「どのように産卵するのか」などの疑問が出た。子ども一人ひとりが iPad を持っているため、インターネットを使い、自分たちの疑問を調べさせた。中でも「ウミガメネットワーク三重」のHPでは、実際にウミガメが産卵している動画や資料などがあり、個々に持っている疑問が解決することができた。そこで子どもたちから「津市のどこにウミガメが来るのか」と思考が向かったため、次時で扱うこととした。</p>	<p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガメネットワーク三重 <p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問 ・板書 <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP「ウミガメネットワーク三重」にある各種資料・動画 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分もっているウミガメについての疑問を進んで調査しようとしている（活動のようす）。
3	<p>「三重県のどこにウミガメが産卵に来るのか」という課題で学習を行った。「ウミガメネットワーク三重」からいただいた「三重県北中部におけるアカウミガメの産卵と子ガメの孵化・脱出【2017年～2022年】」の資料と地図を使いながら課題について調べさせた。子どもからは、「いろいろなところに来る」「何回も同じところに来ている」「年によって、極端に産卵回数が少ないときがある」などの発見をしていた。すると、「なぜ、同じ海岸に来るのか」と疑問が出された。それらの海岸には、何か特徴があるのではないかと予想を立てたので、同団体での資料「三重県北中部の海岸でのウミガメストランディング」と、指導者が実際に現地に行き、360度カメラで撮影し、YouTube に投稿した映像（限定公開）をもとに考えさせた。「広い海岸が多い」「周りに街灯が少ない」などの発見から、「ウミガメは肺呼吸だから、満潮になっても卵が海水に浸からないようにしているんだ」「光や音に反応しないように静かで</p>	<p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガメネットワーク三重 <p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問 ・板書 <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三重県北中部におけるアカウミガメの産卵と子ガメの孵化・脱出【2017年～2022年】」 提供：「ウミガメネットワーク三重」 ・360度映像（指導者撮影） ・「三重県北中部の海岸でのウミガメストランディング」 提供：「ウミガメネットワーク三重」 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県北中部のウミガメの産卵地について進んで調査しようとしている（活動のようす）。 ・産卵地の特徴をウミガメの生態系から繋げて考えている（発言・ふりかえり：ロイロノート）。

	<p>暗い海岸にしているんだ」などとウミガメの生態と繋げて考えることができた。最後に、「2022年度は、一回も上陸をしていないのはなぜか」「何か問題が起こっているにちがいない」と疑問が出たので、次時に扱うこととした。</p>	
4	<p>「今年度、ウミガメはなぜ来なかったのか」という課題で学習を行った。主に、同団体の資料やインターネットを使って調べさせた。「広い海岸が少なくなっている」「街の灯りや車の音が影響している」「マイクロプラスチックごみを食べて死亡していることもある」などと、日本全体で起きている問題から繋げて考えることができた。最後に、「自分たちでできることは何かないか」と尋ねると、「海岸にごみを出したくない」「毎年、夏休みにごみ拾いの募集があるから参加したい」などの発言が出た。</p>	<p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガメネットワーク三重 <p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問 ・板書 <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP「ウミガメネットワーク三重」 ・その他の資料（インターネット） <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウミガメを通して、海洋問題について進んで調査しようとしている（活動のようす）。 ・ウミガメが上陸しなかった理由を近年の海洋問題から繋げて考えている（発言・ふりかえり：ロイロノート）。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・ ウミガメの産卵地を調べることを通して、津市の海岸の特徴をウミガメの生態・産卵条件から考えることができる。
- ・ 近年の海洋問題について興味・関心をもつことができる。

2-3. 本時の展開 ※◎・・・主発問 ○・・・発問

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 課題について、資料を用いて調べさせる。</p> <p>○「三重県のどこにウミガメが産卵をしに来るのでしょうか」 〈子どもの反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「結構な回数で産卵に来ている」 ・「地図の南側で産卵が多い」 ・「2016年、2017年の産卵回数が多い」 ・「年によって産卵の回数が違う」 ・「だんだん、産卵の回数が少なくなっている」 ・「2022年には、1回も上陸していない」 ・「河芸、阿漕などには、何回も上陸している。なぜだろう」 <p>2. 津市の産卵地からウミガメの産卵における生態について考えさせる。</p> <p>◎「産卵回数が多い海岸の特徴は何だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あまりごみなどが多くないところに産卵している」 ・「広い砂浜に産卵していることが多い」 ・「流木が少ないところに産卵している」 ・「ウミガメは肺呼吸だから、卵が海水に浸からないようにしているんだ」 ・「ウミガメの子どもは、音や光に反応するので、静かで暗いところじゃないと、海に行けないと思う」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一台端末の利点を活かし、「三重県北中部におけるアカウミガメの産卵と子ガメの孵化・脱出【2017年～2022年】」をロイロノートで送信し、一人ひとりに資料を用いて調べさせた。 ・ 提供された資料は内容、情報が豊富なため、事前に一部抜粋して配付した。 ・ 子どもの発言から、河芸、阿漕には何回も上陸・産卵をしていることに疑問をもっていたので、主発問とした。 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三重県北中部のウミガメの産卵地について進んで調査しようとしている（活動のようす）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「三重県北中部の海岸でのウミガメストランディング」をロイロノートで送信し、一人ひとりに資料を用いて調べさせた。 ・ 事前に指導者が360度映像で撮影した海岸の様子をYouTubeに投稿して、子ども一人ひとりが自分の端末を使って視聴できるようにした。 ・ 海岸の特徴だけの発言で終わらないように、「なぜ、その場所にウミガメが産卵に来ることが多いのか。」と尋ね、考えさせた。 <p>【主な評価】</p>

<p>3. 2022年の上陸回数が0回である理由について話し合い、予想を立てさせる。</p> <p>○「なぜ、2022年では、上陸回が0回だったと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみが多くなってきたと思います」 ・「海に何か問題が起きたのかもしれない」 ・「地球温暖化が繋がっているのかもしれない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産卵地の特徴をウミガメの生態系から繋げて考えている（発言）。 ・ 最初に出た2022年の上陸回数が0回だった発言を取り上げ、海洋問題について考えさせた。しかし、ここでは、予想に近い発言が多かったため、次時に調べ、考えていくことを伝えた。 ・ 振り返りを書かせて、学習を終えた。 <p>【主な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産卵地の特徴をウミガメの生態系から繋げて考えている（発言・ふりかえり：ロイロノート）。
--	---

3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校がある三重県津市はウミガメの産卵地として有名だったが、ほとんどの子どもがそのことを知らなかった。単元の終わりに、「毎年、夏休み前にもらう『海岸の清掃活動』に絶対に行く」と発言した子どもが10人以上いたことから、単元を通して、ウミガメだけではなく、津市の環境や、抱えている問題（問題については日本全体も含む）に興味・関心を持ち、自分事として考える子どもが増えたと感じる。 ・ 授業の映像を360度カメラにとってYouTubeに投稿して共有を図ったことは、今後、似た単元を行おうとするときに参考になると考えられる。
--

4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請前はマイクロプラスチックごみに焦点を当てて学習を進めていく計画を立てていた。第3～5学年の社会科だと、その内容に関連させて学習できると考えていたからである。しかし、第6学年を担当することになり、急遽、総合的な学習の時間に本単元を扱った。学年ごとの学習の内容を考慮し、計画を立てるべきであった。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、現地調査を行うことに苦しさがあった。360度カメラを用いた現地の映像は子どもたちにとって複数回、そして、気になるところを停止して視聴することができたので効果的であったといえる。しかし、現地を実際に行って調査することは映像を視聴する以上の価値があることを踏まえ、他の方法も考えるべきであった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし
--

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1